

No
75

FEBRUARY
2024

miyazaki

障害者社会参加推進 センターだより

「ふれあうフェスタ2023」
主催：宮崎県 宮崎県障害者社会参加推進センター



1 p

宮崎県肢体不自由児・者父母の会連合会

2 p

宮崎県精神福祉連合会
宮崎県手をつなぐ育成会

3 p

宮崎県立視覚障害者センター

4 p

宮崎県向声会
宮崎県脊髄損傷者友の会

5 p

宮崎県網膜色素変性症協会
宮崎県身体障害者団体連合会

6 p

宮崎県障がい者スポーツ協会

7 p

宮崎県精神保健福祉センター

8～9 p

宮崎県障害者社会参加推進センター

宮崎県障害者社会参加推進センターだよりは、宮崎県障害者社会参加推進協議会の構成団体（当事者団体等）のご協力のもと編集及び発行しております。

発行：宮崎県障害者社会参加推進センター（一般社団法人宮崎県身体障害者団体連合会）

宮崎市原町2-22 TEL 0985-26-2950 FAX 0985-55-0258

宮崎県肢体不自由児・者父母の会連合会

当連合会は、障がい児者に対する福祉の向上を目的に結成され、半世紀以上の歴史ある福祉団体です。障がいのある人も無い人も住み慣れた地域で安心安全 心豊かに暮らせる環境作りに寄与することを目的とした活動を行っております。

障がい当事者や家族が、笑み・ゆとり・彩りある生活を営める最良の福祉環境の充実と、お互いを知り理解し合える共生社会実現に向けて、福祉・医療・行政・教育等との連携を図っていきます。

< 県中央地区 >

県中央地区では今年度カーフェリー船内見学会 & ミヤチランチ会やニュースポーツ体験会など開催することができました。12/16(土)には「さわやかレクリエーション」補助事業にて宮崎市 50 回目のクリスマス会を行うことができ、手回しオールドゴール体験やフラダンスショーで楽しい時間を過ごせました。また、12/23(土)に県社協「ふるさと愛の基金」補助事業にて卓球バレークリスマス会を開催することもできました。



きょうだい児も共に楽しめる卓球バレー



スーパーアイドル
日野 誠さん登場！



< 県南地区 >

今年度 県南地区は初の試みとして、11/23(木)に日南市都市農村交流センターにてポッチャ体験を開催しました。宮崎市ポッチャ協会の方々から誰もが楽しめるポッチャの魅力を教えていただき、会員からは「また来年も」の声が多くありました。

そして、コロナ禍以来となる「成人を祝う会」を1/13(土)日南市の「戸村レストラン」で開催することができました。一緒に食事ができる嬉しさを感じながら成人を迎えられた喜びを感じる一日でした。

支援学校の「成人を祝う会」では着物姿を披露しました。



障がい児・者、保護者、きょうだい児みんなが一緒に！



宮崎県精神福祉連合会（みやせいれん）

活動報告

これまでコロナ禍の中で活動もままならない状況が続きましたが、今年度は少しでも県内の家族会に元気を取り戻して欲しいとの想いで、令和5年12月16日(土)、「餅つき&カラオケ交流会」を実施致しました。当事者やその家族を含め59名の参加があり、初めて杵を手にして餅つき体験をされた方を含め、掛け声もにぎやかに、つきたての餅を参加者全員で食べた後、各家族会からの有志の歌や演奏で大いに盛り上がり、久々の交流会に皆さん笑顔でいっぱいでした。

また、令和5年11月18日(土)に宮崎駅にて「街頭募金活動」（宮崎県共同募金会主催）に参加しました。この日は風も強くとても寒い中での活動となりました。



宮崎県手をつなぐ育成会

「宮崎県手をつなぐ育成会の近況」

一般社団法人 宮崎県手をつなぐ育成会
会長 八木 志乃舞



宮崎県手をつなぐ育成会会長の八木志乃舞です。会長に就任して早いもので1年半が過ぎました。

宮崎県手をつなぐ育成会は知的障がい者（知的障がいのある児童を含む）及びその家族が安心して豊かに暮らせる社会の実現をめざすと共に、その福祉の増進に寄与することを目的に活動しております。

コロナ禍を経て今年度は県大会を開催することができました。障がいがありながら活躍される仲間のパフォーマンスや本人発表、ニュースポーツ体験・カラオケ大会のレクレーションを通して当事者や支援される施設の方との交流会を行いました。

4年ぶりの開催のため、問題なく開催できるのか参加される方が来てくれるのか当日まで心配しましたが、たくさんの方が来られて久しぶりの笑顔に会うことができ嬉しかったです。今年は、宮崎県で九州大会を開催します。九州各地から参加されます。また、たくさんの笑顔に会えることを楽しみに準備を進めていきたいです。

県大会等の活動ができるのも障がいのある子の保護者や特別支援学級、特別支援学校の先生方、県・市町村の関係機関、障がい児・者の福祉に関心を寄せていただく一般の皆様方のご協力により続けてまいりました。

これからも育成会は当事者を真ん中に何ができるのか、ニーズをどう吸い上げるのか模索しながら活動してまいりたいと思っております。

宮崎県立視覚障害者センター

今年度の主な活動報告と来年度に向けて

当センターでは、今年度下記の活動をしました。

視覚障害者研修会の開催

「視覚障害者だから知っておきたい
防災の心得」

講師 榊原道真氏（神戸市の防災士）

期日 令和5年7月23日(日)

場所 県立視覚障害者センター

榊原氏ご自身も視覚障害者として感じられていることを交えたお話で、とても参考になる分かりやすい内容でした。参加者からも大好評をいただきました。

第51回九州視覚障害者 サウンドテーブルテニス大会の開催

期日 令和5年10月28(土)、29日(日)

場所 宮崎県体育館

九州各県市から7チーム47名の選手、役員、審判団など総勢約200名が参加されました。開催県の宮崎県は強かったですね。

団体戦優勝をはじめ個人戦でも弱視の男女が優勝、全盲男子が準優勝とめざましい活躍でした。



第37回宮崎県視覚障害者ふれあい健康 マラソン&ウォーキング大会の開催

期日 令和5年11月26日(日)

場所 大淀川市民緑地（市役所下）

マラソン16名、ウォーキング66名の方に参加頂きました。天気も良く、怪我等もなく無事に開催することができました。宮崎伴走者協会、ライオンズクラブ、さざなみの会の協力や、宮崎北高校の皆さんもウォーキングなどに参加いただきました。マラソンの部では伴走者と1本のロープに託して笑顔で申告タイムに向かって頑張って走っていただきました。昼食後はライオンズクラブのご協力によりお楽しみ抽選会があり大いに盛り上がりました。参加者の皆さん大変お疲れさまでした。

第32回視覚障害者マラソン宮崎大会（青島 太平洋マラソンとの同時開催）の開催

期日 令和5年12月10日(日)

天候に恵まれ、視覚障害者40名の選手の皆さんが、1万人を超える青島マラソンランナーの中に混じって健脚を競いました。今年はフルマラソンに加えて3kmの種目も復活し、往年の賑わいが戻ってきました。あいにく気温が高く選手にとっては大変だったと思いますが、完走された選手の皆様は、喜びの声とともに、「ありがとう」と感謝の言葉をスタッフにもかけてくださっていました。選手、伴走者、そして関係者の皆様大変お疲れさまでした。

NEW
NEW
NEW
NEW

10月から新しい職員が加わりました！

〈 鶴大輔さん 〉

全盲の当事者の方です。行政書士や社会福祉士の資格を持っておられ、福祉制度にも詳しく、また、パソコンやスマートフォンの操作にも精通されています。鶴さんはさっそく当事者の方から様々な質問や相談が多数寄せられており、忙しい毎日となっています。

さて、来年度は、九州各県の皆様をお迎えして九盲連福祉大会が宮崎市で開催されます。（令和7年2月予定）この大会を成功させるよう、当センターでは準備を進めてまいります。

また、視覚障害者研修会や、ふれあい健康マラソン&ウォーキング大会その他視覚障害者の皆様の福祉向上と社会参加に向けた取組を引き続き進めてまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

宮崎県向声会

宮崎県向声会は、喉頭がんや食道がん等で声帯摘出せざるを得ない人々が、手術後1日でも早く日常生活や社会生活を営めるように発声練習を行っております。発声練習は食道発声と電気式人工喉頭「EL」で実施しています。

その他、宮崎県障害者社会参加推進センターの会議への出席、日喉連九州ブロック指導者育成会、役員会にオブザーバーで参加しております。

発声練習について

・ 場所：宮崎県福祉総合センター

・ 日時：毎月第2火曜日・第4火曜日
午後1時30分～2時30分

発声練習の近況

3名の新加入があり、賑やかになって活気も出ています。

ラジオ体操で体をほぐしてから、発声練習に入ります。

発声練習は、「食道発声」「ELに慣れたグループの文章の練習」「新しく入会された方の初歩的なELの操作やはっきりした音がでる喉の部分を探す。簡単な音の発声」の3グループに分かれて行っています。

練習をする本人には、配偶者等の付き添いの方がおられるので、人数は2倍になります。喉摘者を支えている方同士で、食事や運動などの情報交換の大事な時間です。

宮崎県脊髄損傷者友の会

会長 矢野光孝



今年は辰年で幸せが天高く舞い上がり素晴らしい年になるかと期待していましたが元旦早々から思いもかけぬ能登半島地震・津波に見舞われ、北陸地方は大きな被害が続出しました。翌2日には羽田空港で飛行機同士の追突事故が起こり死者は出ましたが、避難の脱出判断がよく旅客機乗員の全員が助かったのは不幸中の幸いでした。他人事だと思っていたら災難はいつぶりかかってくるかもしれません。日常生活に気を付けて過ごしたいものだと思います、

私どもの会は、労災事故、交通事故・病気等で脊髄を痛めほとんどの会員が下半身不随として余儀なく車いすの生活をしています。組織としては、本部を東京に置き全国を6ブロックに分け宮崎県脊髄損傷者友の会として九州ブロックで活動しています

ここ数年会員の減少化に加え高齢化が進み役員の移動が困難になり会活動に支障がでるようになりました。本来の相談業務の実績は皆無に等しいものがあります。以前から若い人たちにも会の入会を勧めていますが、なかなか返事はしてくれません。

今年の目標は会員の増員です。障がい者が安心して住める街づくりに声を出したいと思います。コロナも落ち着いたし。今年6月に愛媛県松山市で全国大会が開催されますので、参加を考えています。

何かアクションを起こし以前のように活発な組織にならないかと思っています。
みなさん良い知恵がありましたらお貸しください

ひかりを失う 『目の難病』 網膜色素変性症は、現在治療法が確立されていません。

宮崎県網膜色素変性症協会（JRPS宮崎）は、患者や家族・医療従事者・支援者が三位一体となって早期の治療法の確立と生活の質の向上（QOL）を目指して、医療講演会・患者交流会を開催し、障がい者福祉の充実を求めて、県や各市町村への要望書提出なども行っています。又、困りごとやお悩みの相談などもお問い合わせください。

尚、当協会では私たちと一緒に活動してくださる患者・家族・医療従事者・支援者等多くの方々の会への入会をお待ちしております。

連絡先

宮崎県網膜色素変性症協会（JRPS宮崎）

会長 竹森義則 TEL 090-1970-9649

メールアドレス kankiti25norinii7988@btvm.ne.jp

宮崎県身体障害者団体連合会

九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会を開催しました

令和5年9月29日に、九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会（宮崎大会）を宮崎県総合運動公園ひなた木の花ドームで開催しました。九州各県から27チーム 140名の方々にご参加いただき、熱戦が繰り広げられました。団体の部では熊本県芦北町チームが優勝され、宮崎県勢は都農Aチームが4位に入賞、個人の部でも県内選手が優勝、準優勝するなど本県選手も奮闘されました。

大会運営にあたりましては、今回も宮崎市グラウンド・ゴルフ協会の皆様にチーム専属で記録員として補助していただく等、温かく選手の方々を迎えてくださると共にスムーズな大会進行をしていただきました。心より感謝申し上げます。



九州身体障害者福祉大会が大分県で開催されました

11月30日～12月1日の期間、大分市 ホルトホール大分で九州福祉大会が開催されました。本県からは37名の参加があり、1日目は研究分科会、2日目は式典・表彰等がありました。特別表彰を高崎町身体障害者福祉会の中村真理子様、組織活動功労表彰を日之影町身体障害者福祉会会長の立脇輝敏様が受賞されました。おめでとうございます。

来年度は、宮崎県での開催となっております。九州各県から多くの方に本県に来ていただきたく準備を進めているところです。





「熱い鼓動 風は南から」を大会スローガンとして、雄大な桜島の噴煙を背景に特別全国障害者スポーツ大会が10月28日(土)から30日(月)まで3日間の日程で開催され、全国から6000名を超す選手・役員が集結しました。この大会は第20回大会として令和2年度に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で3年延期となり、ようやく開催に至った大会でした。

本県からも選手36名、本部役員37名の合計73名の選手団が参加し、桜島や世界遺産の屋久島など美しい自然と豊富な温泉に囲まれた鹿児島県内の各競技会場において熱戦を繰り広げました。

開会式には、鹿児島県立鴨池陸上競技場「白波スタジアム」に秋篠宮皇嗣妃両殿下の御臨席を仰ぎ、県選手団を代表して陸上競技と卓球に参加する選手・役員44名が、眼前に迫る桜島に勝るとも劣らぬ堂々の入場行進を行いました。



この大会での本県選手団は、アーチェリー(出場辞退)を除く、陸上競技・水泳・卓球(STTを含む)・ボウリング・フライングディスク・ボッチャの6つの個人競技に参加しました。選手は、宮崎県代表としての自覚をもち、十分とは言えない練習環境の中でコーチとともに精一杯努力をし、全力で競技した結果金14個、銀11個、銅14個の合計39個と昨年を上回るメダルを獲得することができました。

これもこれまでサポートをいただいたコーチや家族関係者の皆様、声援を送っていただいた県民の皆様のおかげであると深く感謝しています。

最終日は競技終了後、全選手が「白波スタジアム」に集まり、高円宮妃殿下の御臨席の下、閉会式が行われ、御当地出身のシンガーソングライター『C&K』のパフォーマンスで会場内が一体となり、最高の盛り上がりを見せる中で閉会しました。

この特別全国障害者スポーツ大会は、「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴する大会として、障がいのある人もない人も、誰もがスポーツを通じて喜びや感動を分かち合い、障がいに対する理解を深め、障がいの社会参加の推進に寄与するとともに「深めよう！ふれ愛の絆」「見つけよう！未来に輝く夢と希望」「届けよう！熱い思い」の3つの基本方針の下に開催されました。参加した本県選手・役員一人一人が、燃ゆる感動かがしま大会で得た多くの感動を胸に、次年度の佐賀大会、そして令和9年度の宮崎大会の開催に向けての気持ちを新たに帰県しました。



宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

ひきこもりに関する相談のご案内

- ・ひきこもって6ヶ月以上になる
- ・どこに相談したらよいかわからない

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30~17:15 (土日・祝日・年末年始を除く)

※まずはお電話ください。

精神科医による診療相談のご案内

ご本人や家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後1時 ~午後4時 (予約制)
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第1・3木曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

※日程・時間は医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

こころの電話相談

月曜日~金曜日【午前9時~午後7時】

(土、日、祝祭日、12/29~1/3を除く)

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聞いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。

貸出しも行っていきます。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど
- DVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。
※ホームページにパネル等を掲載しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取り組みを紹介しています。

アドレス <https://www.miya-seiren.com/>



カラダのゲンキはココロから。

宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <https://miyakoro.com>

家族教室のご案内

精神疾患(障がい)についての家族のための教室を開いています。精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- 依存症家族教室
- 発達障害家族教室
- ひきこもり家族教室

家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

(匿名参加可)

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- ギャンブル依存症者の家族のつどい
- 薬物依存症者の家族のつどい

宮崎県精神保健福祉センター付近略図



交通のご案内

【宮崎駅から】

●タクシー：約10分

●バス利用：宮崎ナナイロ前バス停まで徒歩10分
宮崎ナナイロ前バス停から7番線(下北方向)で和知川原バス停下車徒歩5分
又は8番線(平和台行)で花殿町バス停下車徒歩5分

宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階

TEL : 0985-27-5663 / FAX : 0985-27-5276

アドレス <https://www.seihocenter-miyazaki.com/>

topic 1

『障がい者差別について理解する
研修会』を県内3箇所で開催

広く県民の方を対象に、障がい及び障がい者への理解を促進し差別の解消を図ることを目的に、「障がい者差別について理解する研修会」を3会場で開催しました。

Socialworkらぼ代表 田畑寿明氏を講師にお迎えし、障害者差別解消法の「正しい理解と合理的配慮」について、大変わかりやすくお話しいただきました。

今年4月から、事業所にも合配慮配慮の提供が義務づけられることから、宮崎会場では公共交通機関関係者の方々を対象とし、鉄道、航空、船舶関係の職員の方等にご参加いただきました。



【令和5年度 開催状況】

R5年 9月1日(金)	都城会場 (まちなか交流センター)	40名
R5年10月12日(木)	門川会場 (クリエイティブセンター門川)	41名
R6年 1月15日(月)	宮崎会場 (宮崎県福祉総合センター)	22名

topic 2

障害者週間啓発活動を実施しました。



12月3日から9日の「障害者週間」に合わせて、啓発活動の一環として、県内道の駅、県立施設等に障害者週間の啓発物を設置しました。啓発物は、啓発チラシと啓発ティッシュ、障がい福祉施設で作られた製品（入浴剤、ビーズストラップ、アクリルたわし等）をセットにしたもので全部で500セット。

また、12月9日(土)に宮崎市民文化ホールで開催した「"こころ"のふれあうフェスタ2023」の来場者の皆様には、障がい福祉施設製作のクッキー等のお菓子の入った啓発物を配布し啓発を行いました。

障がいのある方や福祉への理解が深まることを目指して、今後も続けて参りたいと思います。

topic 3

障がいへの理解を深めるための「盲動犬とのふれあい体験」を
県内2箇所で実施

- 1 実施日 令和5年11月3日(金)(文化の日)
場所 宮崎市 フローランテ宮崎
(みやざき健康ふくしまつり)内)



当日は、とても穏やかな天候ということもあり、多くの来場者で会場は賑わいました。盲動犬コーナーにも多くの方に来ていただき、盲導犬とのふれあいをさせていただきました。

また、ステージでは盲導犬の紹介なども行われ、多くの方が熱心に耳を傾けてくださいました。

- 2 実施日 令和6年2月4日(日)
場所 都城市 未来創造ステーション
(みやこんじょボランティアフェスティバル2024内)



みやこんじょボランティアフェスティバルでの「盲導犬ふれあい」は都城市立図書館2階(広場側)セミナールーム1で実施しました。室内の2階ということで、足をはこんでくださるかが心配でしたが、多くの方が来られ盲導犬とふれあったり、また当事者の2名の方が盲導犬との歩行を体験されました。

topic 4 “こころ”のふれあうフェスタ2023を開催

令和5年12月9日(土) 宮崎市民文化ホールにて「こころ」のふれあうフェスタ2023を開催しました。

当日は約350名の方にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。

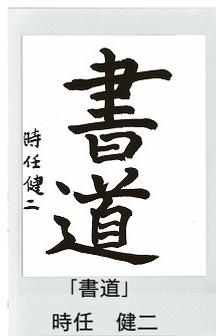
オープニングの「なかまproject」さんを始め10のステージが繰り広げられました。バンド演奏、歌、ダンス、詩吟、落語などバラエティ豊かなステージは大いに盛り上がり、これまで練習を重ねてこられた様子が伝わってくるものばかりでした。司会のMr. バニーさんも会場を盛りあげてくださり、楽しいイベントとなりました。

また、14時からの自閉症当事者でベストセラー作家の東田直樹さん、母美紀さんの講演会にも多くの方にお越し頂きました。文字盤ポインティングを使いながら伝えられる直樹さんの言葉は、ハッとさせられたり、様々な気づきがあり、有意義で貴重な講演でありました。アンケートにも多くの意見が寄せられ、反響の大きさを感じました。

最後になりましたが、開催にあたり御協力いただいたスタッフの皆さま、みやざき犬のひいくん、心よりお礼申し上げます。



topic 5 「第38回障害者による書道・写真全国コンテスト」入賞結果



「障害者による書道・写真全国コンテスト」は、障害者の完全参加と平等をスローガンとした1981年の国際障害者年を記念して、1984年に東京（新宿区戸山町）に設置された全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）が主催するもので、障害のある方々の文化・芸術活動の促進と技術の向上、またそれらの活動を通じた積極的な自己実現と社会参加の促進を目的に1986年から実施されています。

全国から1,174点（書道部門941点、写真部門233点）、宮崎県からは55点（書道部門53点、写真部門2点）の応募があり、書道部門で宮下優輝さんと時任健二さんのお二人が銅賞を受賞されました。おめでとうございます。



〈 相談窓口のご案内 〉

◆ 障がい者差別相談窓口
0985-23-3388
soudan@miyashinren.jp

◆ 障がい者110番
0985-26-3040

障がいのある人が障がいのない人と同じように日常生活を営むことができるよう、障がいを理由として不利益な取扱いをされたり、必要に応じた支援などの合理的配慮を行わないなどの差別に関するご相談に応じます。

障がいのある方が安心して生活ができるようにさまざまな問題について情報提供や助言を行っています。障がいのある方やそのご家族または関係者からの相談に応じます。